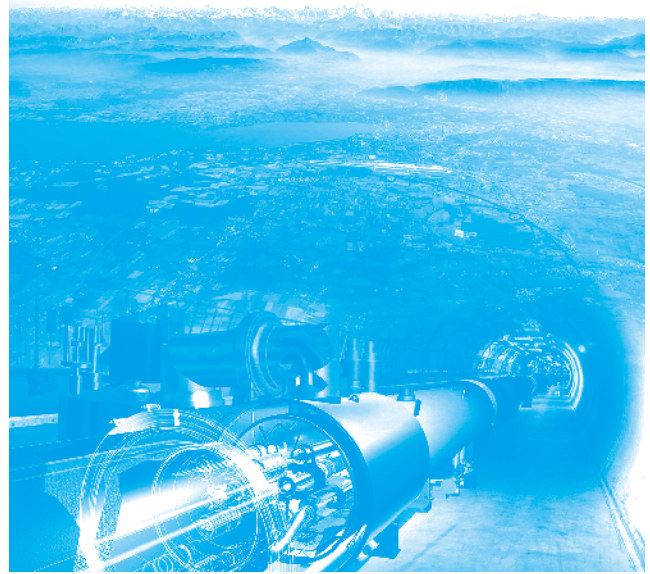


第11回 坂田・早川記念レクチャー

高エネルギー加速器の不思議

集まれ、科学者を夢見る若者たち!

名古屋大学大学院理学研究科・素粒子宇宙物理学専攻は、素粒子物理学と宇宙物理学研究の発展に寄与し、ノーベル賞受賞者をはじめ多くの人材育成に関わってきました。坂田・早川記念レクチャーは、坂田昌一・早川幸男両教授の業績をたたえつつ、21世紀を担う研究者の発掘および育成を目的として設けられました。第11回となる今回は、最先端加速器の開発や建設の第一人者として活躍されている生出勝宣氏をお招きします。Bファクトリー実験による小林・益川理論の検証や、LHC実験によるヒッグス粒子と思われる新粒子の発見など、最近の素粒子物理学の偉大なる成果は、最先端の加速器の存在によって達成されています。粒子はどうやって光速近くにまで加速されるのか? 極微の粒子同士をどうやってぶつけるのか? など、素粒子物理学にとって最も重要な加速器についてお話をうかがいます。



日時 = 2012年12月22日|土|
 開場13:30 開始14:00 終了16:30
 会場 = 名古屋市科学館サイエンスホール
 対象 = 高校生以上
 定員 = 300名 (応募多数の場合は抽選)
 受講料 = 無料 ただし、科学館の観覧料が必要です (高校生、大学生 200円 / 大人 400円)

講演者
おいで かつぶ
 生出 勝宣 教授



1980年に重力波の検出実験で東京大学大学院(物理学)理学博士を取得した後、粒子加速器科学を専門として高エネルギー加速器研究機構の助手、助教授を経て現職。2009年より同機構加速器研究施設長に就任する。小林・益川理論を検証したKEKB加速器の建設と性能向上に本質的な役割を果たし、最近では、SuperKEKB加速器、J-PARC加速器、そして将来計画であるリニアコライダー加速器のデザインや開発を主導する。これらの業績によって、加速器奨励会奨励賞および西川賞(1989年)、仁科記念賞(2001年)、米国ウィルソン賞(2004年)を受賞。

お申し込み | 12月8日まで受付 (往復はがきは当日消印有効)

※ インターネットでのお申し込み

講演会ホームページ内の登録フォームでお申し込みください。
 URL <http://www.hepl.phys.nagoya-u.ac.jp/SakataHayakawa2012/>

※ 往復はがきでのお申し込み

氏名、住所、高校生・大学生・一般・その他の区分、電話番号、返信部分に申込者の宛名を記入して郵送してください。〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17-1 名古屋市科学館「第11回 坂田・早川記念レクチャー」係まで。
 ※申し込みで寄せられた個人情報は、本セミナーの運営に必要な範囲でのみ使用します

お問い合わせ

※ 講演内容に関する問い合わせ

〒464-8602 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院理学研究科
 高エネルギー素粒子物理学研究室(N研)
 TEL 052-789-2902 (担当) 戸本 e-mail shlecture@hepl.phys.nagoya-u.ac.jp

※ 申込方法・会場等に関する問い合わせ

〒460-0008 名古屋市中区栄2丁目17-1 名古屋市科学館
 TEL 052-201-4486 (担当) 天文係 持田
 ※高校などでまとめて参加希望される場合は、お問い合わせください。



〈観覧料〉 高校生、大学生 200円 / 大人 400円

交通案内



地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」駅下車、4・5番出口から南へ徒歩5分